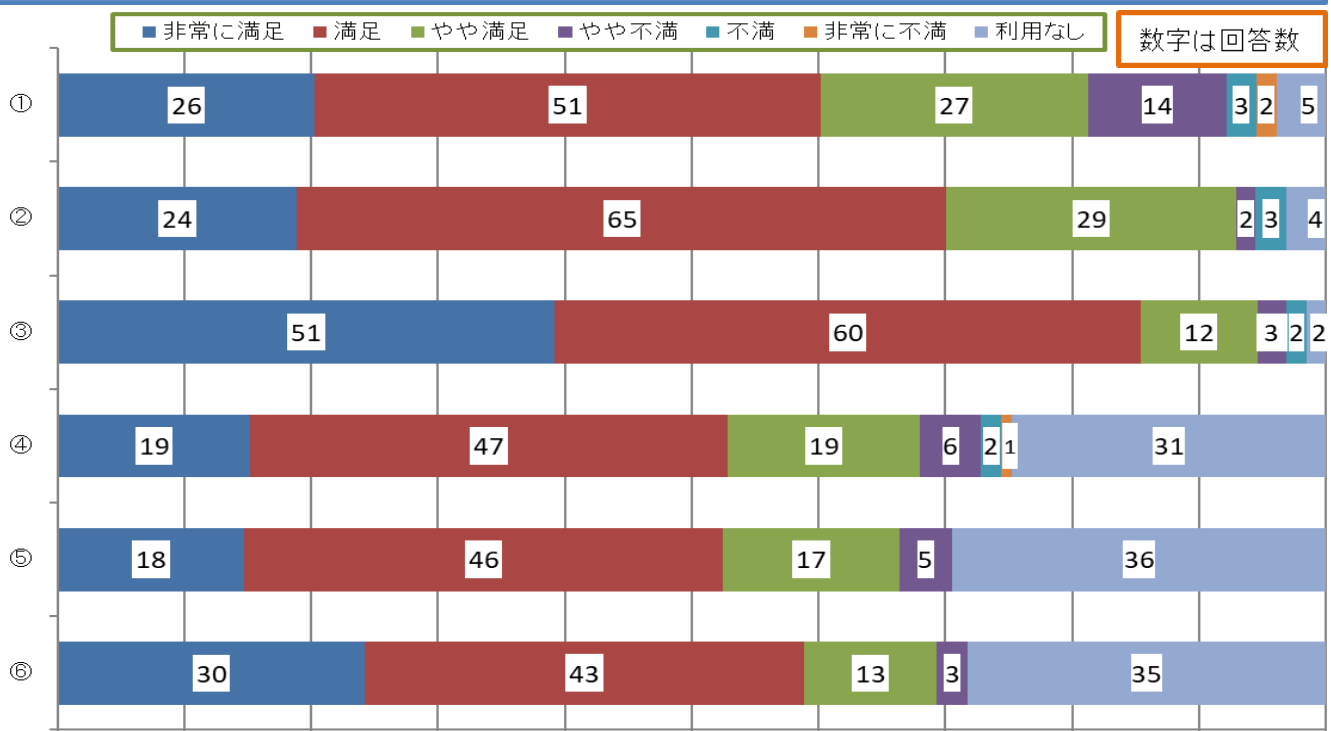


利用者アンケート

10月23日(火)～11月4日(日)の間、来館された皆様に利用者アンケートをお願いしました。
結果の一部をご紹介します。

あなたがどのくらい満足しているか教えてください

- ①お探しの本(資料)は、ございましたか
- ②館内案内図や書架の表示、カウンターの案内などはわかりやすいですか
- ③職員の対応はいかがですか
- ④他の図書館からの本の取り寄せの期間や手続きについてはいかがですか
- ⑤資料検索機、インターネット等のパソコンでお探しの情報は得られましたか
- ⑥調べものや探している本のことで、職員に相談したときの回答は的確でしたか



132件の回答をいただき、総合評価で「非常に満足」「満足」は75%となりました。

各項目の「非常に満足」「満足」の割合は次のとおりです。(「利用なし」は除く。)

- ① 資料の利用 63% ② 館内案内や書架・カウンターの表示 72%
- ③ 職員の対応 87% ④ 他館からの取り寄せ 70%
- ⑤ 検索機器・インターネット機器利用 74% ⑥ 調べものに対する相談回答 82%

いただいたご意見を参考に、今後もより一層サービスの充実に努めて参ります。
お忙しい中、アンケートにご協力をいただきありがとうございました。



BOOK REVIEW ～ちょっと気になる新刊図書～

「世界毒草百科図鑑」

エリザベス・A. ダウンシー著 原書房 2018年10月 【請求記号 4719/18】

毒草と聞いて皆さんはどのような植物を思い浮かべますか。狂言「附子」の題材にもなっているトリカブトや、芽に毒が含まれるジャガイモなどは日本でもなじみのある毒草でしょう。

本書では、世界各地に生息する様々な毒草を取り上げ、毒素の種類や人間がその植物を摂取したときの症状などを解説しています。「心臓への作用」「筋肉を攻撃する」など、その植物の毒が人体にもたらす影響別に分類し、章立てしているのが特徴的です。

毒草の生態についてだけでなく、人間がそれらの毒草とどのようにつきあってきたのかも知ることができ、植物利用の文化史としても楽しめる一冊です。

サイエンス・カフェ開催



10月27日（土）にサイエンス・カフェを開催しました。

今回のサイエンス・カフェは、千葉県立中央博物館の奥田昌明氏を講師にお招きし、地中海北岸と市原市田淵にある地層を例に「チバニアン」について話を伺いました。

「チバニアン」とは何か、どうすごいのか、「チバニアン」が国際委員会に承認されるための条件や市原市田淵にある「千葉セクション」（地層が見える崖）の見どころなどについて、講師の先生の丁寧な説明はとてもわかりやすく、楽しく充実した時間を過ごすことができました。参加した方からも、ニュースでしか知らなかった「チバニアン」について知ることができ大変興味深かったと好評でした。



教えて！レファレンス



松戸市近辺の民話で、英語に翻訳されているものが読みたい。



松戸市の民話で英語に翻訳されているものは見つからなかったが、千葉県内では以下の市町村の資料が見つかった。

芝山町：【資料1】『芝山の昔話と伝説 The old tales and legends of Shibayama』（八角静著 千葉日報社 2003）

大多喜町：【資料2】『英訳大多喜町の民話』（斉藤弥四郎著 大多喜町 2003）

【資料3】『英訳大多喜町の民話 II』（斉藤弥四郎著 大多喜町 2004）

木更津市：【資料4】『Once upon a time in Japan まんが日本昔ばなし 1』（川内彩友美編 ラルフ・マッカーシー訳 講談社 1985）

p48 に木更津市の証城寺に伝わる民話「しょじょ寺の狸ばやし」が載っている。

また民話ではないが、【資料5】『英訳雨月物語』（Ueda Akinari 著 佐々木高政訳 北星堂書店 1981）p51 に、「Lodgings of Weeping Weeds」という題名で、下総国葛飾郡真間（現在の市川市真間地域）が舞台の「浅茅が宿」が載っていた。

〈調査経過〉

- ① 蔵書検索で全項目「民話」×言語区分「英語」×資料種別「千葉県資料」を検索したところ、【資料1】が見つかった。
- ② 千葉県関係資料検索「菜の花ライブラリー」で「民話 英語」を検索すると、「大多喜の民話 英訳絵本に 町が発刊 読書や英語の教材へ 地域に伝わる大蛇伝説も」（『千葉日報』2003年10月13日 p15）が見つかった。大多喜町 HP 内「町刊行物販売のご案内」（<http://www.town.otaki.chiba.jp/index.cfm/9,0,51,html>）を確認したところ、【資料2】【資料3】が発行されていることがわかった。
- ③ 国立国会図書館サーチで「講談社英語文庫 まんが日本昔話」と検索。【資料4】がヒットしたので目次を確認したところ、「しょじょ寺の狸ばやし」が掲載されているのを見つけた。
- ④ 上田秋成『雨月物語』内に千葉県内の話が収録されているとの情報を得たので、国立国会図書館サーチで「英訳 雨月物語」と検索し、【資料5】を見つけた。同時に『新編日本古典文学全集 78』（小学館 1995）p306 で「浅茅が宿」の舞台が「下総の国葛飾郡真間の郷」であること、『角川日本地名大辞典 12 千葉県』（角川日本地名大辞典 編纂委員会編 角川書店 1984）p793 で当地が現在の市川市真間であることを確認した。
- ⑤ 県立中央図書館千葉県資料室と松戸市立図書館に調査を依頼したが、他の情報は見つからなかったとの回答を得た。

出典：http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000207251

レファレンスの中には、西部図書館で探せる資料だけでは回答できないものがあります。そのような時には、他の図書館や博物館などの機関・団体に調査を手伝っていただくほか、時には直接質問者に他の機関などを紹介することもあります。

今回の場合は、追加調査をお願いしたことで「他に資料が見つからない」ということがわかり、回答に繋げることができました。



Library Information

～図書館からのお知らせ～



障害者のための 読書支援機器活用講座

参加無料



西部図書館では、文字を読むのが遅い、読み飛ばしや読み間違いが多い、目や身体が不自由など、活字による読書が難しい人に向けて、耳で聞いて読書に親しんでもらえるよう、毎年、当講座を開催しています。

今回は、自動的に文章を読み上げるパソコン・スマートフォンや声で操作できるAIスピーカーの活用法を、当事者視点で紹介します。また、マルチメディアデイスリー（音声と文字・絵・写真が同時に動く電子書籍）等の県立図書館で利用できる読書支援機器や障害者サービス用資料も併せて紹介します。

【日時】平成31年1月23日（水）午後1時30分～午後4時30分

【会場】県立西部図書館 研修室（松戸市千駄堀 657-7）

【内容】「当事者視点で語るパソコン・スマートフォンの操作の実際」

講師 山賀信行 氏（特定非営利活動法人スラッシュ副代表）

【対象】活字による読書が難しい県民とその支援者、
障害者サービスに関心のある県民等 40名程度

【申込方法】12月1日（土）から来館、電話、FAX又は
電子メールにより受付。申込先着順。



県内初！

西部図書館に「がん情報ギフト」が寄贈されました

「がん情報ギフト」とは、国立がん研究センターで平成29年7月から実施している、信頼できるがんの情報冊子を全国の図書館に寄贈するプロジェクトです。

このたび、県内初となる「がん情報ギフト」が千葉県西部図書館へ寄贈されました！
「医療・健康情報コーナー」に設置いたしましたので、ぜひご活用ください。

【「がん情報ギフト」の内容】

- がんの冊子 全47種
（各種がん・小児がん・がんと治療・がんを知る）

- 関連情報の冊子やチラシ

※図書館資料として整備したほか、配布用のチラシや冊子もあります。



編集後記

千葉県立図書館も公式ツイッターを始めました。
利用案内、イベント、本の紹介などの様々な情報を
「140」という限られた文字数を駆使して積極的に
提供していきます。時々、写真のアクセントにな
っているあみぐるみは職員の手作りです。

West Library 千葉県立西部図書館だより

発行日：平成30年12月15日

編集：千葉県立西部図書館

〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀 657-7

TEL047-385-4133

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

ISSN:0918-7383